

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ) 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホームハッピーヴィラしんまち	評価実施年月日	平成19年10月10日
評価実施構成員氏名	千葉、鈴木、武田、林、切山、嶋村		
記録者氏名	管理者 土井 富美子	記録年月日	平成19年10月10日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	独自の理念を元に日々入居者様に対応している。又、毎月の目標をかかげてケアサービスにいかしている。		地域の輪の中に参加出来る行事を主催してみたい。又、回覧板などで行事を呼びかけ地域の方々と交流を図り入居者様が地域で生活をしてゆく為の支援(理念)を考慮してゆきたい
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念(個人の尊重)を元に日々考慮しながら支援をさせて頂いている。又、ネームの裏に1人1人が理念の書かれたカードを持ち見やすい所にも掲示している		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	今年6月正式に町内会へ入会させて頂いている。回覧板に事業所の紹介、催し理念など添付させて頂いた。		今後催しや挨拶に伺った際に理念を話し地域の皆様と一緒に取り組みながら交流が図れる催しを考慮してゆきたい。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	玄関に催し内容やお立ち寄り下さいなどを記載したボードを掲示している。又、回覧版にも催し案内文を添付させて頂き地域の方々と交流が図れるよう努めている。他、限られてはいるが犬の散歩中、子供と接する場面はある。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	6月に町内会へ入会をした。地域の保育園のバザーに参加するなど交流を深めている。		途々に地域の方々と交流が深められるよう行事など参加をしてゆきたい。又、こちらからも催しを考案し参加を呼びかけ地域の方々と交流を図れる事に努めたい
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	自分達が認知症になった時、どのような地域に住みたいか?を話しあっている。他、運営推進会議でも話あっている。		近所に何名の高齢者が居るのかを知り行事への参加を呼びかけてゆきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>年度ごとの評価から改善に取り組んでいる。</p>	<p>評価結果を元に改善に取り組んでいるが日が経つにつれて改善内容意識が薄れてきている所がある。今後は再意識出来る様、申し送りなどで改善内容を話してゆく</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>月々の催しなどをハッピー新聞を見て頂きながら報告をし始めた。又、会議であげて頂いた意見を元に只今、地域へ挨拶に伺い始めた。</p>	<p>会議で話し合った意見を生活支援サービスに活かせられるよう考慮してゆく</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>特に行き来する機会は設けていないが介護高齢課の方に色々な事を伺ったり教えて頂いたりしながら質の向上に取り組んでいる。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>今現在、権利擁護事業や成年後見制度にて活用できるように支援してゆきたい。</p>	<p>今後必要性を重視し権利擁護や成年後見制度について勉強をしてゆきたい</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>色々な場面においての虐待の意味やなりえる事について話している。又、排泄面であれば2時間おきのトイレ誘導、パット交換の徹底、他、居室の鍵をかける事について拘束になる内容など</p>	<p>どのような事柄が虐待に結びつくのか又、場面においての虐待になりえる事について深く勉強をしてゆきたい</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際にはご家族様の意見を元に入居者様の今後の生活支援について話し合い事業者で出来る範囲の支援内容について説明をしている。又、解約時、今迄のサービス支援について意見を伺っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	個別に話しを伺ったり、又、交換日記などで意見等話せる場を設けている。又、運営推進会議でも話しあっている。		外部者へ表せる場を作り利用者様からのご意見を元に業務、質のサービス向上に努めてゆきたい
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月請求者を郵送する際に身体状況、金銭残高、日々の生活状況を報告している。又、来所時にも話したり金銭出納帳を見て頂いている。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	来所時や電話での意見、不満等、伺っているが外部者への表せる場は只今考慮中		外部者へ表せる場を考慮してゆく。又、定期的に無記名でアンケートを取り参考にしてゆきたい
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の会議や業務時などから意見等上がり改善させている		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	全状況(その日の行事)など考慮しながら勤務調整に努めている。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	特に早い時期での移動等はなく馴染みの配慮がなされていると思う		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	働きながら資格取得が出来るよう配慮され又、外部研修への参加に応じてくださっている。	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	同じ系列同士での施設、館内見学をおこなっている	地域に同業の施設はあるが地域交流が図れておらず。今後同業同士の情報交換などが出来るよう近々挨拶へ行く予定
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	思っている事を話せる場はある	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	年に2回人事考課をおこない今迄の取組んできた経緯や今後の取り組みについて述べられるはからいがある	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受け止める努力をしている。</p>	表情、様子など伺い個別に話を伺いご本人様にとって良い表情や気分がスッキリされる様配慮している。又、途々にはあるが信頼される関係作りを目指し気持ちを理解した上でケアプランを作成している	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受け止める努力をしている。</p>	特に話を聴く場は設けてはいないがその都度話の中から不安な事やご要望、不満など伺い出来る限りの対応と受け止めるようにしている	困っている事や要望など話されずらい事もあるかと思うので定期的にご意見書を送り記入して頂きご要望に添えられるようにしてゆきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	医療面において私達で対応が限られる所と必要とされている支援を考慮しご家族様と話し合い現状に適するサービス対応を始めた		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人様の様子を診ながらご家族様より情報を得て生活ペースが見えてきた上でサービス(ケアプラン)作成をしている。又、ご家族様、来所時常に話し合いながら生活支援の考慮をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	お料理作りの際には一緒に野菜刻みや調理の仕方を教えて頂いたり又、物運びや草取りなど一緒におこない共有感を持った生活作りをしている。他、見守る事、教えて頂く事、手伝って頂く事など分けて考えている。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	定期的に演奏会や食事会などご家族様に参加呼びかけをし入居者様と一緒に過ごす場を設けてきた。		ご家族様の都合もあり行事など少数のご家族様のみしか参加してもらえず、今後他のご家族様も出来るだけ参加してもらえるよう日にちななど考慮し又、一緒に過ごせる場について話し合い深い関係を築いてゆきたい。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族様よりご本人様の今迄の生活様式や情報提供をして頂きご本人様やご家族様のご要望など理解できている所と出来てない所があり、より良い関係をどのように築いていいたら良いか職員間で話しあっている。		ご本人様の心境とご家族様の要望を加味した上でより良い関係作りを考慮してゆきたい。又、職員もご家族様と深く話せる場を設けてより良い関係作りに努めてゆきたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人とお食事会や住んでいた地域のお食事会への参加などご本人様の意向を考慮しながら参加支援に努めている。又、ご本人様のご要望を出来るだけ叶えられる様に定期的に近所の旭友へ行き楽しんでいただいている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	共同で何か出来る場(もやしのヒゲ取り)や全員参加が出来るレクリエーションなど考慮し交流が図れるようにしている。		入居者様同士気が合う人、合わない人はいるが出来る限り孤立する事がない様、考慮し取り組んでゆきたい
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	お便り(ハッピー新聞)など送付している		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の要望を出来る限り叶えられるよう一人一人に合わせた行動をしている。(買い物や入浴、お散歩など)		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様やご本人様に伺いながら生活環境やサービス利用状況について把握をしている。又、センター方式記入の際や入居者情報シートを作成の上でも伺い把握している。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	随時体調管理や身体状態を確認し又、各入居者様のお昼ねの時間帯も一日を通して把握している。他、申し送り時にも話しあっている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ケア内容について職員間で話し合った上でご家族様に説明し意見やご要望など取り入れて欲しいケア内容などを伺い介護計画を作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月に一度見直し、評価をおこなっているが対応が出来ない変化かどうか見極めがつかない所もあり現状のままおこなっていた事もあったが暫く検討をした上で変更をした。		ご本人様を交えご家族様と計画内容について話し合ったが入居者様によって面倒だ、などの意見も上がり、ご本人様の意向をなかなか伺えない時があった。今後なるべくご本人様も同席をして意向等伺えるよう考慮し計画作成に加わってもらえる様、配慮してゆく
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の生活の中で何時もとは違う内容(話や行動など)に重点を置き記載し変化把握に努めている。又、ミ-テングの時に経過や再度の取り組みについて話し合った上で介護計画の見直しをしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご本人様の要望を出来るだけ叶えられる様、配慮した上でご家族様の状況も兼ね合わせた支援をさせて頂いたがご家族様のご意見に添える事が出来ていなかった。		ご本人様を交えご家族様と多く話す場を作りご意向に添えられる様になりたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員や地域の保育園とは情報交換や交流が図れているが警察、消防署はパトロール要請や講習会のみになっている。		近々地域の交番と消防署へ挨拶に行き地域を交えた消防訓練や催しを考慮してゆく予定
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	入居者様、ご家族様の要望に応じて通院や理容のサービス支援や医師、看護師さんの往診を受けられるように支援している。		
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとは協働出来ておらず。		権利擁護、必要性があるないにも関わらず今後知識を深めてゆきたい。又、地域包括支援センターに近々挨拶に行き情報交換や色々な知識を勉強してゆきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	担当医や看護師さんに相談、ご指導をして頂きながら日々の健康管理に努めている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	担当医と相談をしながら治療経過について話しあっている。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	同系列の看護師さんに相談をしたりご指導をして頂き健康管理をしている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	同系列の病院、相談員さん看護師さんなどと常に話し合いながら連携を図っている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	本年度初めに重度化された入居者様について家族様並びに医師とご本人様の意向に添えられるよう話し合いをし方針を新たに決めた。		今後もご家族様方や医師と話し合いながら具体的な対策案を考慮し方針を決めてゆきたい
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	同系列の医師と常に話し合いの場を持ち、お互いの許容範囲を考慮した支援に取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>最近ご家族様の都合により地方のグループホームへ移り住む方がおりその際ご本人様にとって今後の生活の拠点が何処であれば良いのでしょうか？とゆう事や身体的他、関わる親族様の状況を含め話し合い転居となった。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人の尊重を元に入居者様に声掛け、会話をしている。</p>		<p>第3者から見た職員が入居者様に対する会話の仕方を見た時にどう思うか？また、入居者様の自尊心をきずつけない話し方を常に意識しながら会話を出来るようにしてゆきたい(あまり慣れなれしくならぬよう)</p>
<p>51 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>常にご本人様の様子状況を把握しながら理解しやすい様一人一人に合わせた説明をおこなっている。又、何かを選ぶ機会があれば自己決定をして頂いている。</p>		
<p>52 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>ご本人様にどのようにしたいか？伺い又、様子から出来る限りの希望を叶え、お誘いをしたり又、自室でTVを見たり、ぬりえをしたりと無理に何かをしましょうとゆうのではなく各自の生活ペースを保ちながら支援に努めている。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>身だしなみ(ヒゲそり)などご本人様に促すもなかなかされない方もおり、ご家族様とそのむね話し、ご家族様、来所時、促し協力してくださっている。又、ご本人様、望む美容室へ行ける様、ご家族様に話しながら行ける様努めている。</p>		<p>衣類などご本人様の意向よりご家族様の意向になっている所もある為、年に何度かでも好みの洋服など自分で選んで楽しんで頂ける場を作りたい</p>
<p>54 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>入居者様の好みではないもの(ケチャップなど)つけてよいか伺いながら盛り付けをしている。又、入居者様の様子を伺いながら一緒に茶碗洗いや後かたづけをしている。</p>		<p>メニューが日々組みこまれているが外食をする機会を作りたい。(好きなものを食べれるように)</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ご本人様の希望と状況を兼ねそなえ、お酒は飲用量を制限している。又、タバコは決まった場所で喫煙をして頂いている。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人一人の排泄パターンを把握し2～3時間おきにトイレ誘導をし排泄調整をおこなっている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	湯加減等個別に配慮。又、他者(好みではない人)同士はなるべく一緒にならぬ様、配慮をしている。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	寝付けない方には少し会話をもち気分の安定を図り、又、休息時は無理な声かけはしていない。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	自らおこなってくださり役割になっている。(カーテンの開け閉め、片づけ、食材の刻み、盛り付けなど)楽しみとして新聞を読む、花壇の手入れ、職員との会話、お買い物、公園へ散歩、ドライブ、お祭りなど気晴らしを考えた支援をしている。		役割として男性入居者様が活躍出来る場を多く作ってゆきたい。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様と話し合いの上で(所持金額を決め)又、ご本人様の納得の上でおこなっている。		自ら選んだ物を買うようお金を使える場についてご家族さんともう一度話しあってゆきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	行きたい場所などその方々の気分状況によって個別にお出かけをし気分転換を図れる様にしている。又、不足している物など一緒に買い物へ行ける様にしている。		突発的な外出希望に応じれない時がある為、外出しなくても安堵して頂ける促しを考えてゆきたい
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	個別ケアを重視し望みの場所へ行けるようにしている。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	公衆電話にて自ら電話が出来る様にしている。又、ご本人様の希望に添え、ご家族様に電話をかけ話しが出来る様にしている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	催しなどの案内文をご家族様に送り気軽に訪問が出来るよう又、入居者様と触れ合う場を設けているが知人等は催しの案内など送ってはならず。		深く知人、友人を把握していない事もあり訪問者が限られた方しか訪れず、今後行事や手紙などで知らせ来客を増やしたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	具体的な身体拘束について身近でなりえる上での内容については常時、話し合いをしている。		拘束内容を把握し色々な状況や場面についての拘束を深く勉強をしてゆきたい
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	特例がない限り鍵をかける事はない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	入居者様の様子を把握出来てない場面もあったので安全確認が出来る様に工夫をした。		入居者様が安心して暮らせるよう館内の安全対策等に只今全力をそそいでいる。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	各、入居者様の居室等、危険箇所、物など常時、考慮し、現状にあった生活環境になるよう支援をしている。		上記の内容と同様、只今館内の安全対策をしている。又、一部の入居者様の居室、(配線コード)などに深く注意をはらっている。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	ヒヤリハット報告書で再発防止に取り組んでいる。		各入居者様の様子把握をおこない一人一人に合わせた対応策を考えてゆきたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	応急処置マニュアルを事務所の机の上に常備しており又、1年に1回普通救命講習を実施(消防署の方に来所して頂いて)おこなっている。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	館内での避難対応策(道具は置いてあるが)地域の皆様の協力を得られる迄になっておらず。		運営推進会議でも避難場などについて話し上がった事から近々ご近所様等へ挨拶をしに行く予定。今後協力を得られるようにする。
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ご家族様、来所時、ここ最近の生活状況について説明をし現状での対応策について話しをした。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	入居者様の様子を診ながらご本人様に気分を伺ったり又、バイタル測定と食事、排泄面などから変化を見極め対応している。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	バイタル表に薬の効能を記載し、又、多数の薬、飲み合わせなど担当医に伺ったりしている。又、軟膏などは症状、効能を把握しながら対応している。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	身体を動かす取り組みについてはご本人様のその時の表情や様子などからおこなえず。		蠕動運動や廊下歩行するなど以前、話していたがここ最近はおこなえておらず。又、薬に頼りがちになっている事もある為、今後は薬に頼らずに、なるべく運動などで便秘予防に努めたい。又、ご本人様が一緒に楽しんで運動をされるよう促し方法など考慮してゆきたい。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後声掛けをし又、入居者様と一緒に口腔ケアをおこなっている。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人一人の食事形態と摂取量を把握しバイタル表に記入。又、摂取量が少ない方にはフルーツを摂取して頂いている。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	定期的に館内消毒剤で拭き掃除をし感染予防に努めている。		各、感染内容について具体的に把握出来ていないので今後は各、感染について勉強し対応策を考慮してゆきたい。早速実行とする。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>79 食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>調理用具等漂白をし乾燥機に入れている。又、野菜などは調理前水に浮かしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>			
<p>80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>内玄関に行事や催しなどを記載したボードを飾り気軽に入れる様にしている。</p>		<p>外玄関周りなど、かたく見えがちな所を気軽に立ち寄ってみようと思われる様な明るい環境にしたい。</p>
<p>81 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>内玄関にベンチを置き側には入居者様と職員で作った貼り絵を飾り生活観などを出し居心地の良く過ごせるような感じを演出している。</p>		
<p>82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>内玄関にベンチを置き2回廊下には本棚と椅子を置き一人でも過ごせる場所を作っている。</p>		
<p>83 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使用されて、馴染みのある家具や飾りなどを持ち込み生活をされている。</p>		
<p>84 換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>入居者様の体感温度を考慮しながらお茶参加時(自室におられない時やご本人様と話し)空気の入替えを適度にさせてもらっている。</p>		
<p>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	浴槽が深い為、浴槽チェアを踏み台にし安全に入れる様に努めている。		階段昇降の際、手すり(左右の間、幅が長い為、只今手すり幅と階段昇り時について良い方法など何かないか～？考慮中である。他、浴槽の深さについても、すのこなどで深さを補えるよう考慮中である。
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	ご本人様にとって判りやすい座席にしたり表示をかけたりしている。		
87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	花壇に野菜などを植え収穫したり、草取りや水蒔きなどをし活動している。		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>一人一人の願い、要望を把握した上で出来る限りの対応をしている。 (お出掛けなど)</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>午前と午後のお茶時と食後などの時間帯</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>歩行運動をされたり、ぬりえをされたりと各自の生活ペースで過ごされている。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>願い、要望(お出掛けなど)が達成された時など。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>1名の方が山菜取りへ行きたい要望があり1度一緒に行った事があったがどンドン奥へゆかれた為、危険性をともなう事もあり、今期は行けず、代わりの所へ行ったが満足されず。只今ご家族様と話し合いの上考慮中。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>健康面、医療面においては担当医や看護師さんと相談をしながら取り組んでいる。安全面においては厳重に見直し、見守りとし取り組んでいる。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>その時々々の状況によって各入居者様の要望を出来るだけ叶えられるよう対応させていただいているがどう感じられているか？他、安全面については見守りなど厳重に対応している</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p> <p>ご家族様の求めている事など把握出来ていない所もあり良き信頼関係が出来ているかはどうか判らず。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>週に1回音楽療法の日にご近所の方が来所されている</p>

. サービスの成果に関する項目			
	項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	民生委員の方や地域の方など運営推進会議を通じてグループホームの生活状況などを少しでも広める事が出来た
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	各職員同士思っている事、考えている事多種多様にあり、言えない事があるかとは思いますが会議や業務中などで意見を述べられる場や職員同士の良い関係は出来ているので不可解なく働いているのではないと思う
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その時々状況によって突発的な要望は叶えられない事もありサービスに満足されているかどうかは判らず。出来るだけ要望は叶えているが。。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	ご家族様の求めている事など把握出来ていない所もあり良き信頼関係が出来ているかはどうか判らず。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) <取り組んでいる点・アピール点>  
個別ケアを重視し各入居者様の出来る限りの要望(お出掛けなど個別に行き)叶えられ満足を楽しんで生活が送れるよう配慮している。他、地域との交流(本年中は多くの方々と交流を図る事を目標にし)来年度はご近所の保育園さんと合同でお祭りを実現する事を目標に、只今取り組んでおります。